妻への恋文（1992）

LE ZEBRE

メディア 映画
ジャンル ロマンス
製作国 フランス
色彩 Color
時間 90分
初公開日 1993/04/29
公開情報 テレビ東京＝ギャガ提供／ギャガ

【解説】

スケジュールの都合で降板したパトリス・ルコントからバトンタッチで初の劇映画監督を手掛けたのが俳優のＪ・ポワレ。ところが完成後、彼は急死。まさしく主演女優である妻のＣ・セリエに遺した最後の“恋文”となってしまったのが本作。Ｔ・レルミット扮する公証人イッポリートは高校の国語教師の美しい妻（セリエ）と、二人の子にも恵まれ幸福な１５年目の結婚生活を送っていたが、妻の気持ちが自分から離れてるのではと案じていた。離婚争議に携わる仕事も不安に拍車をかける。やがて、匿名の恋文が妻の元に届くようになり、その熱烈な内容に妻は心を奪われていく。差出人の心当りもないではない。そして、いよいよ密会の誘いがあり、彼女は気もそぞろに出かけていく……。初めの乾いたユーモラスな空気が次第に狂おしいまでの愛の熱気に蒸されていく感じが何とも言えない。妻愛しさに常軌を逸した芝居をうつ夫の物悲しい眼差しは脚本も担当した監督ポワレ、その人の映画への（セリエへの）視点とあい重なり、胸をうつ。

【クレジット】

監督	ジャン・ポワレ	Jean Poiret
製作	ティエリー・ド・ガネ	Thierry de Ganay
製作総指揮	モニク・ゲリエ	
脚本	ジャン・ポワレ	Jean Poiret
撮影	エドゥアルド・セラ	Eduardo Serra
音楽	ジャン＝クロード・プティ	Jean-Claude Petit
出演	ティエリー・レルミット	Thierry Lhermitte
	カロリーヌ・セリエ	Caroline Cellier
	クリスチャン・ペレイラ	
	アニー・グレゴリオ	Annie Grégorio
	フランソワ・ダイレク	
	カリン・レマール	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.